

2022 年 8 月 24 日

ほしぞらサロン 2022 年 7 月議事録

文責:阪本 麻裕

日 時: 2022 年 7 月 30 日(土) 18:00~22:00

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 篠原*, 高木, 濱島

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 8 名

* リモート(Zoom)参加者

1. 次回【8 月 20 日(土)】のほしぞらウォッチング「夏の星空」について

===== 予定 =====

19:30~20:00 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)

20:00~21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

高木: 望遠鏡は 2 台出すのか。天頂プリズムをつけると、ベガとアンタレスは観望天体として良いのではないかな。

平野: 天頂付近に望遠鏡を向けると紙コップ部分が下向きになってしまい、落ちてしまう可能性がある。

小野田: アイピースが合えば、反射望遠鏡で見るのはどうか。最近は観望会で反射望遠鏡を出していない。

高木: 観望天体に合わせて望遠鏡の鏡筒部分の角度を変えて、回す操作が必要になる。ベガのみを観望の対象にするのであれば、見え方はあまり良くないかもしれない。

角田: 反射望遠鏡を出していない理由として、鏡の端の部分が剥がれてしまっているため、有効口径が小さくなっている。また、鏡筒の横にアイピースがあるため、覗くときにその都度調整が必要になってくる。

小野田: 前回のサロンで紙コップの有無は今回の話し合いで決める予定だったがどうするか。

角田: 感染状況や社会状況を鑑みて、判断したい。

● 今後のほしぞらウォッチングの予定

- ・ 9 月 10 日(土)「中秋の名月」 20:00~21:00 月の観望(風の丘)
- ・ 10 月 15 日(土)「木星・土星」 19:30~20:00 プラネタリウムでの解説(プラネタリウム)
20:00~21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

2. 今年度の出張観望会について

今年度の出張観望会の依頼は、計 5 件の予定である。今回のサロンでは、今月実施予定である 2 件の出張観望会について、話し合いを行った。

8 月 5 日(金)	ふれあいの森総合公園 [予備日:8 月 19 日(金)]
8 月 11 日(木・祝)	玄海地区コミュニティ・センター
9 月 17 日(土)	直方市立下境小学校 [予備日:10 月 1 日(土)]
10 月 30 日(日)	旧若宮西小学校
12 月 3 日(土)	日の里西小学校

★ 8 月 5 日(金) ふれあいの森総合公園での出張観望会 “森の夜の星空観察会”

【時間】 19:30～20:00 お話 20:00～21:00 観望会	【定員】 15 組(1 組 3 人まで)
--	----------------------

角田： 熱中症対策として、屋外でマスクの着用は推奨しない方が良いのではないかな。

小野田： 現在、主に子どもたちの間で感染症が流行しているため、マスクをつけてもらった方が
良いと思う。

角田： 実際望遠鏡で観望すると、子どもたちが喜んで騒いでしまう。声を出してしまうため、リス
クをどれだけ許容するか。

小野田： マスクをせずに咳をしている子がいると危ない。

高木： 望遠鏡に近づいたときはマスクをつけてもらうようにしてはどうか。

角田： 望遠鏡の前ではマスクを着用してもらって、見終わったらマスクを外すのは可ということ
にしてみる。スタッフの皆さんには、熱中症対策として、空調服を着用してもらう。

小野田： 望遠鏡は何台持って行くのか。

高木： 1 台で良いと思う。対空双眼鏡と合わせて 2 台で良いのではないかな。今回の参加人数
は少人数であるため、対空双眼鏡を使用してみてもは。しかし、参加者の人数があ
る程度決まっていないと、紙コップが 2 個必要であるため、出すのは難しいと思う。

角田： 観望天体はどうするか。20 時でベガの高度が約 60 度くらいである。アンタレスやアル
タイルも候補である。

高木： ベガを導入するのは大変かもしれないが、試しに入れてみるのも良いかもしれない。

→熱中症対策のため、望遠鏡に近づいたときは参加者にマスクの着用をお願いし、列に並んで
いるときはマスクを外しても良いこととする。

★ 8月11日(木・祝) 玄海地区コミュニティ・センターでの出張観望会

【時間】 19:30～20:00 コミュニティ・センター内でお話 【定員】 10組(約20人)
20:00～21:00 駐車場で観望会
※ 雨天時は中止

角田： 玄海地区コミュニティ・センターは、宗像大社から進んだところにある。翌日[12日(金)]が満月であるため、月が昇ってくる時刻は良い。機材は、対空双眼鏡と望遠鏡2台を使用予定。観望天体は、ふれあいの森総合公園での出張観望会のときと同様、ベガやアンタレス等の夏の恒星を予定している。

高木： 観望会をする場所は、空が暗いのか。

角田： 宗像大社の明かりが消灯していれば、暗いと思われる。ただ、海側であるため、漁船の灯りが気になるかもしれない。

● 今後の出張観望会の予定

- ・ 9月17日(土) 直方市立下境小学校 19:30～21:00 [予備日：10月1日(土)]
- ・ 10月30日(日) 旧若宮西小学校 18:30～20:00
- ・ 12月3日(土) 日の里西小学校 18:00～19:30

2. クリスマス番組について

ほしぞらスタッフの方々が中心となって、数年前まで「クリスマスのおくりもの」のシリーズを制作していた。過去2年間は職員がショートストーリーを制作している。これまでの話し合いの中で、クリスマスのおくりものシリーズの2作目「プロキオンぼうやとまほうつかい」のリバイバル版をしてみてもどうかという意見があった。現在の世界情勢を踏まえて、戦争と平和がテーマとなっている「プロキオンぼうやとまほうつかい」を上映してみてもどうかということである。

角田： 先日、改めてドームで番組を見てみた。ウクライナの当事者が見たときに簡単に解決するように解釈されてしまい、傷つけてしまうのではないかと心配になった。しかし、実際に戦争が起きているからこそ、上映するべきであるのかもしれない。

平野： 番組の候補はたくさんあるため、今しなくても良いのではないかな。

角田： お客さんに大きな声を出してもらうシーンもあるのが懸念される。

高木： クリスマスツリー星団を見つけようといった物語はどうか。いっかくじゅう座のところにあり、クリスマスツリーのような形をしている。

濱島： 自分で探すとなると、難しいと思う。

平野： このような星団もあると知ってもらえるきっかけになるため、良いのではないかな。

角田： クリスマスの時期に工作教室などといったイベントをしてみるのも良いかもしれない。先日、古賀市のエコロの森で行われたロケット工作教室は好評だった。

→引き続き、クリスマスの活動についての案を募集中。

3. 8月以降の活動について

- ★ 8月 5日(金) 出張観望会@ふれあいの森総合公園(18:00～21:00)[予備日: 8月19日(金)]
- ★ 8月 6日(土) ほしぞら友の会(13:30～16:00 ペットボトルロケット工作・打ち上げ)
- ★ 8月11日(木・祝) 出張観望会@玄海地区コミュニティ・センター(18:00～21:00)
- ★ 8月20日(土) ほしぞらウォッチング「夏の星空」(19:30～21:00)
- ★ 8月27日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)
- ★ 9月10日(土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 太陽系と宇宙の広がり)
ほしぞらウォッチング「中秋の名月」(20:00～21:00)
- ★ 9月17日(土) 出張観望会@直方市立下境小学校(18:00～21:00)
- ★ 9月24日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)
- [☆ 10月1日(土) 出張観望会@下境学童保育所 予備日(18:00～21:00)]
- ★10月 8日(土) ほしぞら友の会(13:30～16:00 火薬ロケット工作)
- ★10月15日(土) ほしぞらウォッチング「木星・土星」(19:30～21:00)
- ★10月29日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)
- ★10月30日(日) 出張観望会@旧若宮西小学校(18:30～20:00)

次回のほしぞらサロンは、2022年8月27日(土)です。